(1) 第29号	蒲 生 町 書	<b>报</b> 昭和28年8月31日発行
年のの與 け治力実て間 最で 四為方計本れの全のは題もあ 月に針画町ば本の方産で住る	ねを般り進極地 卒ば達の行すに方は太	The second of th
の鋭に公はな旨施策業あ民が 縣意従表鹿ら達策をのりに就 経研いせ見な成を真振行影中	らす策機とて治が 刀	
済究町ら島いに施劍興政響経 自を産る縣 努しに経機の逆	いた悉にに民根	
化ね発や濟 し方討のとな策	は運こてる福精 当用の行の祉神 然さ目うでをは	
具 で最な結提種定分と発電体であ大る集携団め野し展示	る表計年同つそ濟動 こ。す画目計たの自の	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一
的のるの飛しに体町にこせな な基 眼躍本よ等当亘れしる 部本 目を町つと局つがむ	基 に検今のる進五展	
分方 と期経てのをて為るアレビン に針 しす済町密始そ町とり	F方 つ修度施過努年及 ➡ 合正はに去め計ん には もを更よー今画で ━	HE A
つ於いこの総な関對産ををてけると速力連係策業目準	本 の加にりケ日を町	可以以目的自己的
はる のをかを絡各を各的 引 ④ ③ ② ① 一 ~ 線入積すれ集町 調経 あ、 一	10 あ発の二の至め経 いよのをのれこのな尚 すう経進忌たれあい当	
	in the NL . Let DE 18 H NL FT BW	
合を極るが中内啓済ら全 經済 開催に 。適活す愛振の一般 ううが活する。 適活する が活する が活する が 高 が 市 の 登 振りの で が の 登 振りの で 派 の 登 振りの で 派 の 登 振りの で が の 登 振りの で が の で が の で の う で の で の で の う で の で の う の で の の で の う の で の の で の の う の で の の の の	第力が御いで成と考知 で御漸提御あはもを識 あ援次案意り今思要経	発行所 蒲生町役場
推。資 運るの 要を の	る助伸さ見町後はす験 。	<ul> <li>発行者 森 文 雄 編集人 川 崎 兼 季</li> </ul>
<ul> <li>進本用為技性利重</li> <li>をのをめ術を用点</li> <li>行望期この强し点</li> <li>①一円つと各標業的為濟</li> </ul>	御す本計各残る部及 願る町画位さが分ば <u> ()</u> () () () () () () () () () () () () ()	印刷所 キング堂印刷所       6 (5)(4)(3)(2)(1)二(8)(7)(6)(5)

振興計画の啓発 振興計画の啓発	及事業別の計画 をの指導計画は本町経 たる。 前間指導計画は本町 をの計画 がの加工 を の 前間 が の が の が の が の が の が の が の が の が の が	(工工業)の 第二工業の 第二工業の で 一本 一本 一本 一本 一本 一本 一本 一本 一本 一本 一本 一本 一本	す経転都になって、 など、 など、 など、 など、 など、 など、 など、 など
報農徹農、会村印業底業農教文刷智 智林育化	教運融融めし町約協会で、 動めて各陸の一部の の他の一部の の の の の の の の の の の の の の	を 当 本 お の 他 没 本 の 御 た お 合 開 発 計 画 上 下 水 当 都 市 計 画 上 下 水 当 都 市 計 画 上 下 水 当 都 市 計 画 上 下 水 当 都 市 計 画 上 下 水 当 あ め に 安 ろ に よ る に よ る に よ る に よ る に よ る に よ る に よ る に よ る に よ る に よ る に よ る に よ る に よ る に よ る に よ る に よ る に よ る に よ る に よ る に よ ろ た に よ る に よ ろ た に よ る に よ ろ た ま の に よ る に よ ろ た に よ ろ た ち に よ ろ た ち の ら に よ ろ た ち た ち た あ た ち の ら た た ま の に よ ろ た ち ろ た ち ち う ち ち た ち た ち た ち た ち た ち た ち ち の 等 う た ま た ち た ち ち ち ち ち た ち た ち た ち た ち た ち た ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち	的連技態員会連計 一機及 强絡術勢会並営る そ 關び 力協陣ををび のと社
⑥農村生活の合理化 本炭の品質の向上推茸の 市林産物	野谷市、「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「」」」」」」」」」」」」」」」	= 農業災害の防止徹底 回顧」與金額の と 豊機具の 普及 し で し し の で し し の で し し の で し し の で し し の で し の で の の で の の の で の の の で の の の で の の の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の つ の つ の つ の で の で の つ の つ の で の で の で の つ の つ の で の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の で の つ の つ の で の つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	特査の普及、主義部務部部部部部部部部部部部部部部部部部部部部部部部部部部部部部部部部部部部
▲的れ村 一あ自考 つ努はの 天る立え て力我興 はこはよ	がにとを前に狭民々はながらる本 実団考にもいはの現け団經た町 蹉結え資な暇「障在れ結営め産業 しし之金らが資碍資ばしをに業 ててををなな金が金な経合はの	三努術諸農 部め材木を産歴 もめの加産 品ずと材な増史	<ul> <li></li></ul>

しとの指强成 め企積導化助 る業極の資長 の的確本方 合企立の策 理業町確 る工農をくらをずで行協実生いいがあやら濟理各水 。夫家決一助自出はく同行み」之なる零な的化生準 の自す く覚来なこしに出とでいが細いにし産を 如身る るせるいとて移す諦は土我性そ自て者引 何のも 者よ確かを强す方めど地々やれ立部が上 に積の を 信経先力こ法るうが町種にし落自げ と野菜 販路の開拓 新 製的の業 作に 家具 豊 勝 出 す 世 に 店面によって お面によって して して 対する助成戦の大学

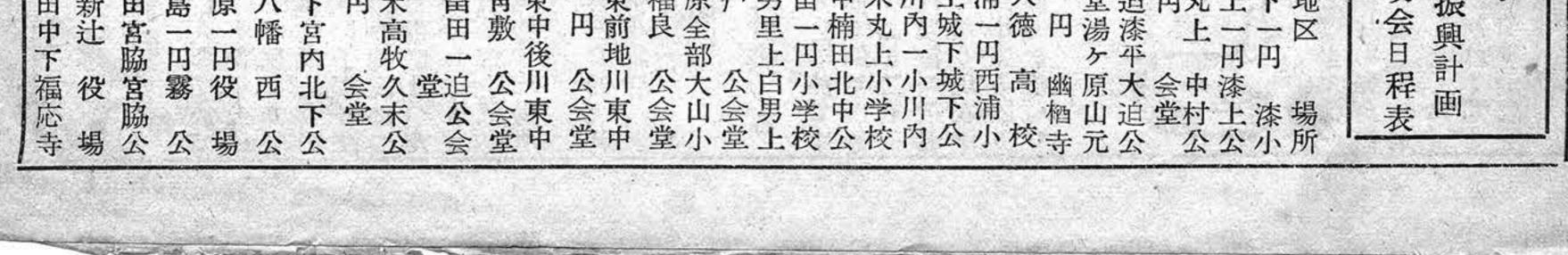
2

	昭和28年8月31日発行	蒲	生 町	報	第29号 (2)
で農業失能人でお祝の主	<ul> <li>③ 増肥係等を設け毎月</li> <li>⑤ 堆肥係等を設け毎月</li> <li>⑦ 堆肥焼産品評会の開産</li> <li>⑨ 励行 種子との種子との種子更新</li> <li>◎ し 脱落者の</li> <li>◎ し 脱落者の</li> <li>○ 準肥焼 長 豊 徴 具の 共同</li> <li>○ 準 肥 後 長 豊 徴 具の 共同</li> </ul>	④肥料製造技術の研究改 (又は日)設定実施 電影開期に部落で実行出	込の り う う う う う た の や 数 し 豊 家 に や い う に 応 じ 豊 家 に の や 数 豊 の に の や 数 豊 家 に の や 数 豊 家 に の や の 教 数 豊 家 に の や の 教 数 豊 家 に の ち の や 数 豊 家 に の や の 教 数 豊 家 に の や の 教 数 豊 家 に の ち で あ わ で の や の 数 豊 家 に の ち で の や の 数 豊 家 に の た い う で わ で わ で の わ で か う で の わ で か う で の わ で の ち で の ち で う の で い う で の ち で う で う の で の ち で う で う の で の う で う で う で う で う で う の ち で う で つ で う で う で う で う で つ う で う で う つ で う つ う つ で う つ つ つ う う つ つ つ つ つ う つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	the second se	県が提唱する主要 実験項目 選び
館の館シートンの生		②苗床踏込材料の共同蒐 の共同苗床の設置並に管	金 売 売 売 売 売 売 売 売 同 販 売 の 金 作 物 行 の 男 声 の の 月 調 思 え し し ま こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ	<ul> <li>⑦⑥水稲甘藷の店床の</li> <li>⑤濃業防疫班の活動に</li> <li>⑤濃業防疫班の活動に</li> <li>⑤水稲甘藷の苗床品</li> <li>○⑥水稲甘藷の苗床品</li> <li>○⑥水稲甘藷の苗床品</li> <li>○⑥水稲甘藷の市市</li> <li>○⑤水稲甘藷の市市</li> <li>○⑤水稲甘藷の市市</li> <li>○⑤水稲甘藷の市市</li> <li>○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○</li></ul>	► 毎月一回の農談会の開
	以上の販売代金の励行 3 (3) (3) (3) (4) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	①柑橘及柿の品種割の申合せ貯金	⑦優良福子の抑制 同購入、生産物の共 の が林の手入れによる 同購入、生産物の共 の が が が が が が が が が が の の の の の の の の	④ の栽培、 一部語、 の 和 の 和 本 子 、 日 来 の 秋 田 泉 田 栽 培 三 、 十 マ 大 ン 大 の 来 雪 明 末 に よ る 牛 等 人 、 二 、 二 い よ る 牛 等 人 、 二 こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ	②① ⑤⑤⑤③⑤⑤③⑤③⑤③⑤③③③○○<

		お貝金の反	<b>ドの</b> 放し 貪の 尻行
		3)1)	<b>ヨンケ</b> ノ司ンカ
		の増强	の改
	1	⑦製品の規格統一、生産	及び去勢の励行
	協力推進母体   消防団	⑥生産原價に対する研究	牡牛より牝牛への切替
	1 .	⑤顧客名簿の作成	)蕃殖奨励
(会	一島、「一島、「一島、「一島、「三」の一島、「二島、「二島、「二島、「二島、「二島、「二島、「二島、「二島、「二島、「二	明朗化	の無家畜農家の一掃
		④店舗の改善装飾による	1、畜産部門
1生活部長	部 	法の改善	)養鯉の奨励
	落目	③金融機関の研究と融資	產部
→ 1 産業部長	治子 副 会 長	の研究	部分林等の設定
		A STATE OF A	基本財源
	- <mark> </mark> <5	励行	賣
1総務部長	組合	①帳簿類の完整と記帳の	離茸の増産励行と共同
長	長	六、商工業部門	不良林の改良地栫実行
部	/ 1消防団幹部	自作奨勵	出励行
会長	運営委員 1-農業振興会長	⑤草履箒等の自家用品の	)伐採願書伐採届書の提
-	1 青 年	の品質改善	と連絡販売用苗の生産
	1 帚 え 南 音 邦 南 雪 邦 南 雪 和 国 国 国 国 国 国 国 国 国 国 国 国 国 国 国 国 国 国	細工の振興	)林業試験場森林組合等
		③竹の利用による各種竹	自家苗木の生産確保
		と製品の規格統一增産	の励行
編成表 (	部落自治会編	②手すき和紙の振興奨勵	造林及び造林地の手入
10.000 Million 10.000		<b>入</b>	、林業部門
		売及び原料藁の共同購	動の実施
	ロ生活形式の整理	①藁工品の增産と共同販	毎日茶碗一杯の蒐集運
1	T	五、副業	- 灰
1	の向上を図る	合せ貯畜の勵行	)畦豆の栽培の奨励
	③家事能率及び生産能率	種販賣代金のロ割申	栽培の徹
>	ニ家計の無駄をなくする	共同販売	)麦作間作のレンド青刈
	へ保健	鶏	採種の励行
	ロ衣生活の面	除と優良鶏の	する縁肥栽培及び自家
イ共同炊事	イ食生活の面	⑥優良家畜の導入奨勵	)休閑田(除濕田)に対
④生活の協	②無駄の廢止	强化	肥
ニ設備の充	①冠婚葬祭の簡易化	設置による自給度の	給肥料の部追記
ハ家族の協	七、生活改善部門	⑤飼料作物の増産とサイ	合せ貯金の励行

1.3

(3) 第29号	蒲 生 1	盯 報	昭和28年8月31日発行	
農のす状と園こよ不て家合萬 業でる的化場とり如い各を一る 防最のにしはが防意て個予病	詩てが揚図に協に勿じは就にる農力町論	り被人氣と。を響町にき	き物農、蒲	
疫悪や数周病出除やは防測害 班のむ回囲害来のそ防除す虫 を場なのの虫な徹の除だるが	つ特中努と業をにていた病め共技得於ある適害でに術でてる	5極努て作 なぼ濟自日	中存濟 晨生	
設合き防耕のい底他薬けと蔓 置にに除作せのをの剤にき延 し備立を者いで期事購依生し	る切虫い増の増は とな防る産統産各 こる除の意一確種	。しにさの と事もの作 得よれ豊 こは甚みの るつる兇 ろ今大な豊	の処要 未 四 豊極食	町
耕へ至実は温当す情入存産た作町る施波床該るにのし農場	ろ措にで慾滲保団で置対あの透の体	こてがは で更ならりとそ然多 あ登るずり	なて悪 が同じ	
資も疫め延を得本の以濟 技般 材の班たし指る部發て組農術事 係とのる一導だ長生構合業指務	部る職故部委部有統	と本資しに果 (二あ) 売部材本農あ防こ、る 表記業ら疫農編。 男	を除防の収役	民間
す出場済しけに状成の改導をる動合防艇早報況し各良係処	は をるを長はるし 総代場補共町も降	方町置下疫むの防要 /	せ徹作同要班	舉
進部必範個る察ず技員る	課 すはす組役と王員 る内る合農すの	りし 術部にを本 ニ	とをを識す図實に 領	っ
言長要 囲 人 外 し 病 術 農 す に を に 防 出 適 害 員 協 る 防 認 蔓 除 来 宜 虫 を 共	と も一本長業る し の名部と委 。 ] ー とそ長し員 相	助疫 導設役も	も食しづ の糧以く で増て共	て
す以動動長三す疫長編二発場有	(三しのる組)	とす数宜数て同と長のしる地とは組じすを下	長にて各二よ濟薬除 之班農部ごう防劑用共	経
。を当配直令 に指名部すはで 指りすにを 伝令簿員る防む	:害言部 疫動大は済 。虫に長 班すな自防	加作にる溶すす組く組入者亘 のるるは組を	に長業落防に除入機済当を防の疫すに手械組る置疫水班る支確機合	済
揮てる闘受 達ををはも除る	のよはのるる日除 防り技活も組のが 則除一術動のの耕実	同夫耕 況の作地は織	の班を耕をにのをと長編作来畄整担	自
もらと長防 も関し防す出めの組しに疫 の係本疫る動し	ドに斉指要と組作施 よ最防導領す員面さ も除係 ると積れ	にのの よすを地の組 所組散 りるも区互に	すは成者 さ意備当 る部しを なし及し	T
	氏をい振 名結蒲興蒲	語 指と具当機域但	「「「二」」、「四」(四」(二」)	x



昭和28年8月31日発行

上前

E

又尘

斉

辰

围

蒲 報 第29号 (4) の三て集 に計議如件議会八 を 案期月 を 臨 議 Ŧi. H 月 しを日臨た承間時 時三 こり醸造こ水査厚に学 よでにこ認当東四り三は位ケ蒲 と決にすと施さ生関校 う先未れす局線年米年昭決年生 にし報るに設れ委す電 とに解はる案を度力度和点引 が認と議大陳決会 が認 議 日 くつ割付本員 要情定 を こか当託件の 次 L 招 + 會 てあたをしの患こ窒く額た委入△ののしさし方べ置山△で表た均々決予予本庭△と 右つい期て大畜れす早をが員に陳で必てれたをくに分陳あ者だし含定算算件か陳に、 のたとし農きのはるく決組会つ情あ要もた。要早つ校情るよきを移し面にはさ情決 したとし農きのはるく決組会つ情あ要もた。要早つ校情るよきを移し面にはさ情決 よがいた家い診農こ提定合にい五る性委問こ窒くい生四 りた早轉たで計な上三定 う審ういの自療業と出しと付て 。を員題れす追て徒 陳い急後。審上るけ し に議要か利動の共にさたし託 自 認会ではる加。職蒲 情とにのこ議方べに西た。 報 告 さ西実運れすをくつ浦れ浦施動はる要早い小 あ前こ予本員生 めで りにと算件用中 て調 ゐ査議もにには便学 、た校し場小と望くて学 たし会陳決計な所校 も区ての学とし追 校 ひんでれ全入性 要べるし業購 もそと 上る設大 0 定 の代い地校にて加 情 b 校 害っ者たうしい△ると よ 要てて陳 5 0 決定さ 旧援費にで来損る火よし方 もでさあ団定員に さ助で備なしし本用りたを本原あよべ消提。送て器 もて、国本路路出と窒は道。に開て出るたけ。 早 情 コ提 n す.急本六 もの危」出は る に件 さ川こ予は災 n で復なとれ東と たも 算当害 査託件林あ旧状暗た後に化局復. 橋補 すしは道る方態渠もの決 すで旧 0 修 るて土の。 をにがの代定る 設に で I こ自地修 陳な水で 表しょ計つ あ ▲職と本給△定審式にてよでと表と様最つ 00 〇す並議しのた五 事 0 新上浩斗手扶回年正徽法木スレンを掲が在当 北卡

町

一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	ははなっていた。 には、 になった。 には、 にたいので、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に
等実つ 杉十四るのよま月に札まに本 〇〇 手殿 小はき次を石十筈祭りす末落にし四慶ま参大郎 が一日 またで典上がにしたののす道居のの が一日 などのの方で共上がにた所ののす道居のの が一日 などのの方でまたたで、 一日 ないのの でのの方で、 一日 ないのの でのの方で、 一日 ないのの でのの で、 一日 ないの で、 一日 ないの で、 本 で、 本 で、 本 で、 本 で、 本 で、 本 で、 本 で、 本 で、 本 で、 本 で、 本 で、 本 で、 で、 本 で、 で、 本 で、 本 で、 本 で、 で、 本 で、 本 で、 本 で、 本 で、 本 で、 本 で、 本 で、 本 本 で、 本 で、 本 で、 本 で、 本 で、 本 本 で、 本 で、 本 で、 本 で 本 で、 本 本 で 本 で 本 本 で 本 で 本 本 で 本 本 本 で 本 本 で で 本 本 本 本 本 本 本 で 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本	付のて六植入提開に三 勧合は養付二の 部でい萬えの出拓つ 業よ蒲成申 で さあた二たーさ農い特 委り生設請1あ れりだ手の部れ業で産 員陳和備に経る た、き壹でとた協 品 会情紙の営
報酬えし窓際 る奥 しかく総 面本質力し支援 認知上支援 認知 とう しょう しょう しょう しょう しょう しょう に ひょう に し し し し と かった さ し と かった さ かった ご かった い の 皮 と い かった ご ちょう い の 皮 と ま に つ の かった ご 男 い かっか い かっか い かっか い かっか い かっか い かっかう い かう かっかう い かっかう い かっかう い かっかう い かう かう い かう かう かう かう かう かう かう い か かう い か か い かう か か かう か い か か かう い か かう ひ か かう ひ かう ひ	このでは、 していたでで、 していたでで、 していたで、 していたで、 していたで、 していたで、 していたで、 していたで、 していたで、 したいで、 したいで、 していで
さ忠読り興今酷るひます「「「「「「「「」」」」」。ようの日本に「「「」」」」、「「」」」、「「」」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」」	<ul> <li>オーレーはでンがきや後留舘は「</li> <li>オ、次居も当講母先先後町蒲 未</li> <li>人場日のるあ日演子生生援婦生 ー</li> <li>を 所時通。りはを相を地の人町 ー</li> </ul>

